

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
期末配当金受領株主確定日	毎年3月31日
中間配当金受領株主確定日	毎年9月30日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒541-8502 大阪府中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 TEL:0120-094-777(通話料無料)
公告の方法	当社は以下のURLで電子公告を行います。 <a href="http://www.shizuki.co.jp/">http://www.shizuki.co.jp/</a> ※事故その他のやむをえない事由により、電子公告を行うことができない場合は、 日本経済新聞に掲載いたします。
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第2部 大阪証券取引所 市場第2部

### 【ご注意】

- 株主さまの住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

### 『指月(シヅキ)』社名の由来

『指月』の社名は、創業者山本重雄が長州（現在の山口県）の出身であること、また幕末長州藩の一代家老として藩政改革で功を成した村田清風が先祖にあたることから、毛利家歴代の居城である萩城（指月城）から名をお借りしたのが命名の由来です。



### 株式会社 指月電機製作所

本社 〒662-0867 兵庫県西宮市大社町10番45号  
TEL:0798-74-5821 FAX:0798-73-0807



証券コード 6994  
東証二部・大証二部

## 第83期 第2四半期報告書

# 株主通信

平成22年4月1日～平成22年9月30日

## 特集：シヅキの強み

かゆい所に手が届く存在として、創る、届ける。

## カスタム商品ならシヅキにおまかせ！

### トピックス：シヅキの強さを支える工場

#01 九州指月

## お伝えします「九州指月、強さの秘密」



株式会社 指月電機製作所

<http://www.shizuki.co.jp/>

# 欧州市場への進出と体制強化。 新たなチャンスを求めて、今こそ動く。



代表執行役社長  
梶川 泰彦

## 欧州マーケットへのシヅキブランド浸透を目指す

現在、国内市場はリーマンショック以降、設備投資の減少の影響もあり、依然厳しい状況が続いています。ただ、そんな中でも当社グループは新たな可能性を求めて事業拡大に取り組んでおり、今期から他企業と「協業」しながら欧州マーケットに進出し、早くも受注につながっています。

今後、さらなる発展に期待を寄せていますが、特に成長著しいパワーエレクトロニクス分野に注力したいと考えています。既存の欧州メーカーにはない、「カスタム品対応」や「クイックレスポンス」といった当社グループ独自の強みを活かし、欧州マーケットに深く切り込んでいきます。そのため、新たに新規事業本部を設立。営業を始め、専門のスタッフを現地に派遣しており、すでに欧州で受注したものを日本国内で製造する体制が確立されています。

このように世界市場への進出を推進し、現在売上高の17%ほどに留まる海外比率を30%にまで高めたいと考えています。上期においては数字に表れませんが、下期には目に見える成果としてお伝えできると思います。

## 欧州を加えた4極に対して、グループ全体で挑む

また、これまで独自性が強かったアメリカンシヅキに、

# AIM2013

シヅキが目指す2013年度のあるべき姿

全売上高	総資産経常利益率(ROA)	営業利益	一株当たり利益(EPS)
270億円	14%	32億円	60.9円

日本の技術者を常駐させることで、徐々に組織改革、意識改革に取り組んできましたが、ここにきてようやくシヅキが本来得意とするパワーエレクトロニクス市場へ参入できるようになりました。今後は、従来のマーケットである日本、東南アジア(中国・タイ)、アメリカという3極に、新たに欧州を加えた4極に対して、グループ全体が同じ意識のもと連携しながら最適供給体制をとります。為替のリスクヘッジも踏まえ、アメリカンシヅキで生産した商品を欧州へ輸出するという試みも視野に入れていきます。

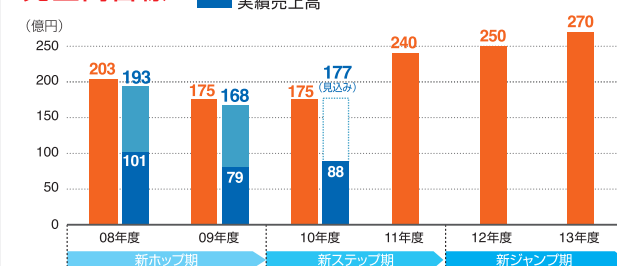
## さらなる市場の変化に備えて、今、新たな布石を打つ

このように企業が長期的に成長し続けるには、市場の先を見据えて、あらかじめ布石を打っておくことが必要です。来春完成を予定している本社R&Dセンターや秋田指月、九州指月の研究開発棟はその最たるものと言えます。今後ますます多様化、細分化していくお客さまのニーズに、より上流の工程から、素早く、的確に対応していくためのものなのです。今回の株主通信では、トピックスとして毎年二桁ペースで売上を伸ばす九州指月を取り上げますが、当社の志をより深くご理解いただければと思います。ぜひ、ご一読のうえ、株主の皆さまには、引き続きご支援いただけますようよろしくお願い申し上げます。

## AIM2013を目指した経営戦略

- ▶ 対応型から提案・ソリューション型企業への革新
- ▶ 重点事業領域(ドメイン)の拡大
- ▶ 事業活動の最適化(「JIS」の展開)
- ▶ 共育と訓練(指月PPVSの展開)
- ▶ 固有技術のプロ集団化(研究・開発の環境整備)

## 売上高目標



## 経営指標

項目	新ホップ期		新ステップ期		新ジャンプ期
	09年度	10年度	11年度	12年度	13年度
営業利益 (億円)	13.0	12.0	26.4	28.8	32.4
総資産経常利益率(ROA) (%)	7.2	6.3	11.9	12.7	14.1
一株当たり利益(EPS) (円)	32.8	25.0	50.1	54.0	60.9

実績 | 見込み | 計画



# かゆい所に手が届く存在として、創る、届ける。 カスタム品ならシツキにおまかせ！

コンデンサ市場に広がる  
「カスタム化」の波に対応



私たちシツキは、これまでも「お客さまの立場に立った物づくり」を心掛け、「カスタム品対応」や「クイックレスポンス」という強みのもと成長してきました。1400社、19000品種という数字は、お客さまの必要としているものを、必要として今、市場では「カスタム品」が広く求められています。私たちはすでに、何十年にもわたって「カスタム品」を送り出してきたことになり現在、その強みをさらに確固たるものにするべく、「お客さまと一緒に取り組むシツキにしか形にできない「カスタム品」、それがどのようにして生み出されるか、

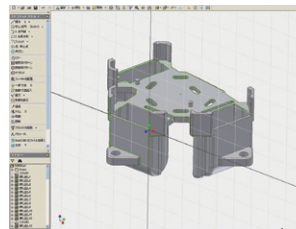
いる時に届けてきた企業努力の証です。ます。物づくり」の体制を整えています。ここにご紹介します。



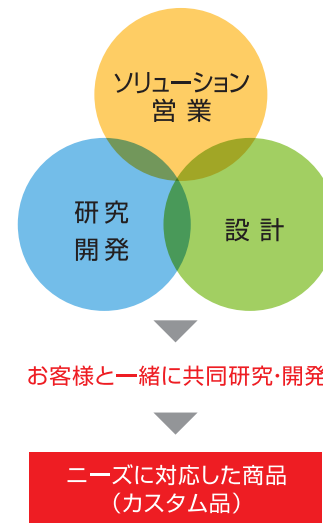
## 試験から商品化まですべてを担う。 「お客さまと一緒に取り組む物づくり」を推進

一般的にコンデンサ = 標準品というイメージを持たれているかもしれませんが、しかし、私たちシツキが得意としているのは「カスタム品」、いわゆるオーダーメイドです。中でも営業と技術者がお客さまのもとへ伺い、要望を聞き、その情報を社内でも共有し、研究開発棟で具現化するまでのスピードに関しては他社の追随を許しません。そして今、秋田指月、九州指月の研究開発棟では「お客さまと一緒に取り組む物づくり」を推進。分析(X線CT、マイクロスコブなどを用いた素材分析や組成分析)、試作検証

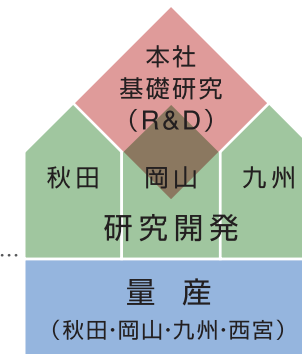
(3Dプリンタなどを活用した迅速なモデリング)、試験検証(振動試験機や環境試験機などを用いて実用試験、安全試験)の共同研究、共同開発を行っています。秋田指月では、JIS(日本工業標準審査会)の評価試験もでき、規格取得まで対応。試験から商品化までのすべてを自社で担えます。必要な物のみを開発し、素早く対応し、在庫を保有しない。それこそが私たちの「カスタム品」の特長。だからこそリスクが少なく、メリットが大きいのです。



3Dデータ(写真上)とそれをもとに製作した造形モデル(写真下)



3つの拠点で研究開発を促進



本社R&Dセンターを設立。3つの研究開発拠点を柱とし、お客さまのニーズをカタチにしていきます。

## 目指せ! カウンターのお寿司屋さん。 「カスタム品は鮮度が命」

私たちが目指しているスタイルは無駄の多い回転寿司のお店ではなく、カウンターのお寿司屋さん。標準メニューを選んでいただくのではなく、ショーケースに並んだ素材を見ていただき、カスタム品に応えます。そして、注文を受けたらすぐに形にしてお届けするイメージです。外注ではなく、自分たちで握る(作る)ため、オーダーストップしても、ムダなくすぐに対応できます。まだまだ改善すべき点は多いですが、こうした意識付けは、アメリカンシツキをはじめ、グループ全体に浸透しつつあります。



## トピックス

### 指月の強さを支える工場

#### #01 お客さまの信頼を得、着々と実績を残す。

### お伝えします「九州指月、強さの秘密」

九州指月はこの厳しい市況の中でも、毎年二桁台の成長を成し遂げています。手掛けているのは工場や大型施設で使われる電力用コンデンサや新幹線をはじめとする車両に用いられる鉄道用コンデンサなど。中でも近年、特に力を入れているのが鉄道用コンデンサ、パワエレ用コンデンサです。新幹線N700系の導入実績が高く評価され、国内外のさまざまなメーカー様からの受注につながっています。

#### 信頼性を向上させる研究開発棟

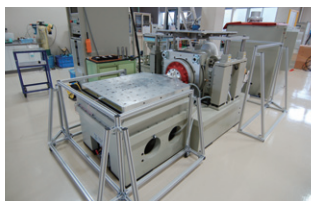
そうした新たなお付き合いが始まる際、最も注目されるのが昨年完成した研究開発棟の存在です。振動試験や電圧試験、破壊試験、環境試験など、お客さまのニーズにあわせた最適なテストサービスを提供することが可能であり、信頼性の向上に一役買っています。また鉄道用な



素早く連携対応できる技術フロア

ど安全性を求められる商品が多いため、出荷予定商品はマイクロスコープによるクラック検査やX線CTによる空洞確認などを行うことで万全を期しています。

また、生産面での強みとしては高い内製比率を誇っていることがあげられます。コア技術でもあるフィルムへの蒸着から、多種の部品に至るまで、商品プロセスに関わるあらゆるものを内製化しています。内製化することによりお客さまが求めている量を、求めている時に供給することが可能で、しかも、そうした体制は改善のプロフェッショナルである「シムス推進室」の指導のもと日々手が加えられています。



大型商品にも対応可能な振動試験機など、様々な検査設備を整えています。

#### 「だるう管理」から「である管理」へ。その実践も九州指月から。

樹脂モールド形のコンデンサは、「内観検査設備」を自社で開発・導入し、お客さまの不安となる内部構造の状態を全数検査しています。これは見えない部分を推測で管理する「だるう管理」から脱却し、確信をもって安全性に太鼓判を押す「である管理」の実践を進めている結果です。

お客さまから「そこまでやっているのか」と驚かれる管理体制へ。九州指月からスタートし、今ではグループ全体の意識が変わりつつあります。

「工場はショールーム」という社長の想いが浸透。細部にわたって手入れが行き届いたクリーンな工場。



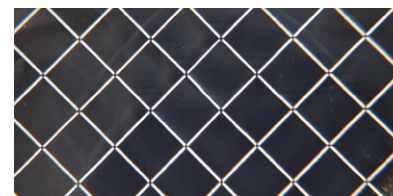
## SHIZUKI TECHNAVI

### シツキのコアとなる「基本加工技術」

## 「蒸着」「スリット」「真空」で、 難度の高いカスタマイズにも対応

シツキでは商品生産に関わる技術のほとんどを自社保有しています。中でも物づくりのコアとなる「基本加工技術」の「蒸着技術」「スリット技術」「真空技術」は他と一線を画す精度を誇ります。これらの技術があるからこそ、難度の高いカスタマイズの依頼にも対応できるのです。

### 蒸着技術



様々な素材に多彩な金属を真空蒸着する技術。アルミ・亜鉛・銅・合金など多彩な金属をプラスチックフィルムや紙に素材の特性を活かしたまま蒸着膜を形成させることができます。また、素材の表面に蒸着部分と非蒸着部分とを形成するパターン蒸着など多様なニーズに応えることができます。さらには研究用の蒸着試験設備も保有しており、蒸着フィルムの試作開発にも対応できます。

### スリット技術



フィルムコンデンサにおいては、極薄のフィルムロールを狭小の任意の幅に連続して裁断する必要があります。シツキでは、素材・厚み・蒸着の有無に関係なく、高精度に連続裁断することができます。裁断幅は最小2.5mmから0.1mm単位で対応可能。コンデンサ用はもちろん、絶縁テープ用など、様々な用途で活用できます。

### 真空技術



コンデンサの製造で培った多彩な真空技術を有しています。蒸着・乾燥、含浸・注型など真空中での高度な加工ノウハウがあるため、真空加工に関する様々な要望に応えることができます。また、加工だけでなく、省エネ・省スペース設計とシール技術により、目的に応じた完璧な真空設備を製造提供することも可能です。

#### 岡山指月に本社R&Dセンターを建設中!

来春、岡山指月の敷地内に完成予定の本社R&Dセンターは、当社グループの物づくりを支える基礎部分の開発を担う施設。このR&Dセンターには最新の開発設備が導入される予定です。完成した暁には新商品の研究開発、新素材開発を行い、世界へ飛躍していきます。



なるほど  
シツキの  
技術力!

## 事業概要と展望

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、海外経済の改善や国内の経済対策の効果などにより企業の収益改善が見られました。

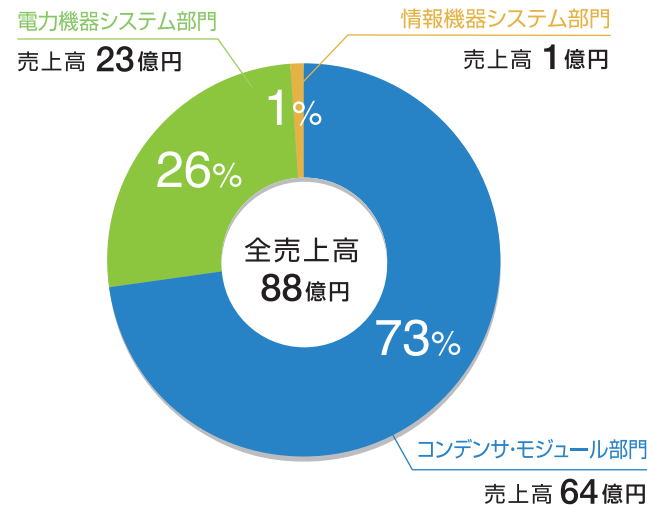
しかし、急激な円高の進行、株安、国内需要刺激策の息切れ、低迷する設備投資需要など先行き不透明な状況で推移しました。

このような経営環境のもと当社グループは、欧州市場への進出を果たすなど「攻めの経営」を展開し事業拡大を図っております。

引き続き厳しい環境が続くと思われませんがグループ一丸となって事業に取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、ますますのご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

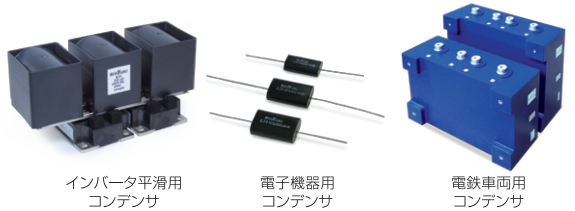
## 部門別売上高比率（2010年9月）



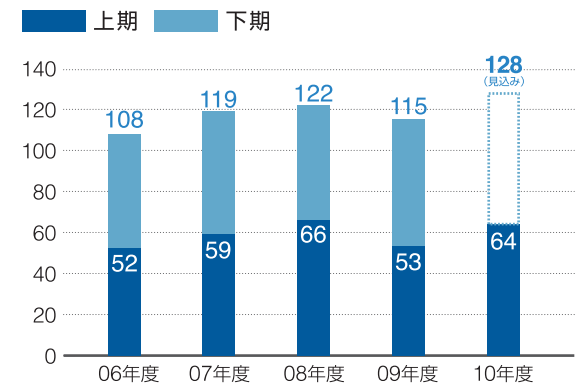
売上高  
構成比率  
**73%**

## コンデンサ・モジュール部門

前期に引き続き、環境対応車の増産などによる自動車産業向け商品ならびに家電機器用、電鉄車両用コンデンサが堅調に推移し、当初予想を上回る売上高となりました。電鉄車両用ならびに新エネルギー用コンデンサについては、今後も世界的なインフラ整備が拡大するものと予測されることから、さらなる受注増加に向け取り組んでまいります。引き続き、新たな市場ニーズに適合した、小型、高性能フィルムコンデンサならびに電気二重層コンデンサの開発を進めてまいります。



## コンデンサ・モジュール部門売上高（単位:億円）



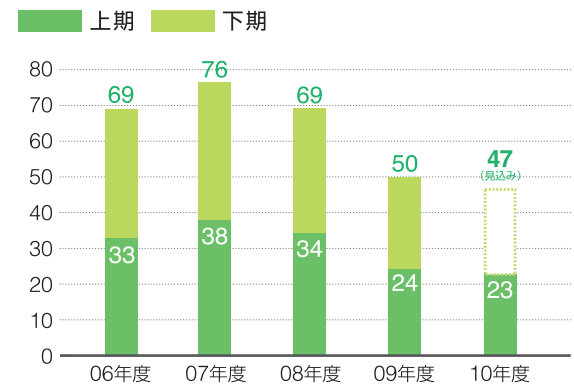
売上高  
構成比率  
**26%**

## 電力機器システム部門

工場建設、設備投資の回復が遅れている影響もあり、電力機器需要は低調に推移しました。依然、厳しい状況は続いておりますが、スマートグリッド・省エネなど環境関連の新規需要は拡大しつつあります。今後これらの分野における「高調波対策」、「電圧変動対策」、「瞬時電圧低下対策」など電力品質の安定、向上に貢献する商品開発を推進します。また、蓄電やピークカットなど電力平準化対応商品の拡充を進めてまいります。



## 電力機器システム部門売上高（単位:億円）



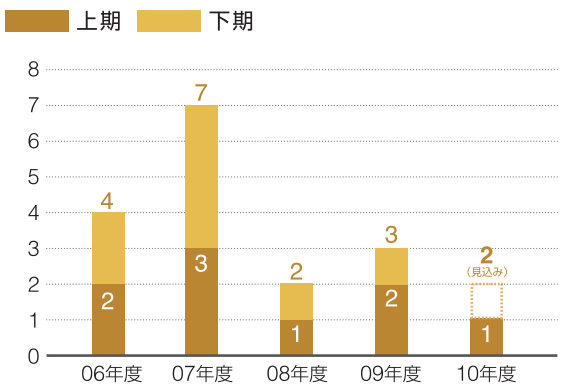
売上高  
構成比率  
**1%**

## 情報機器システム部門

「バス用表示装置」ならびに「鉄道用表示装置」が堅調に推移したものの、「空港用表示装置」など大型商談の端境期にあるため、売上高は前年同期比の55.0%減少となりました。「バス用表示装置」については、携帯電話回線網を利用したバスロケーション機能搭載の液晶表示器を開発するなど、積極的な商品開発を進めております。今後も、新商品開発を推進するとともに「空港用表示装置」の既設品リニューアル対応も継続し進めてまいります。



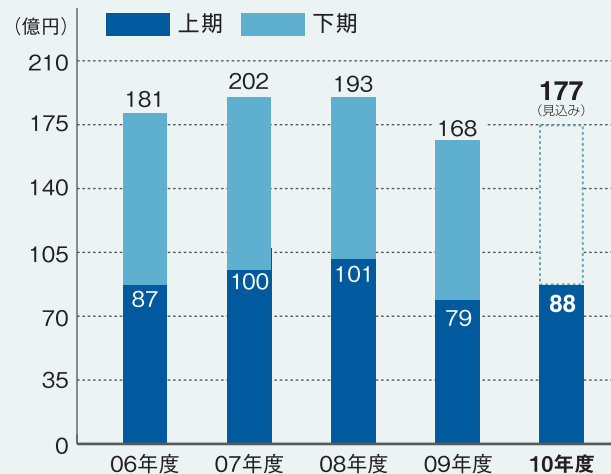
## 情報機器システム部門売上高（単位:億円）



## 財務ハイライト(連結)

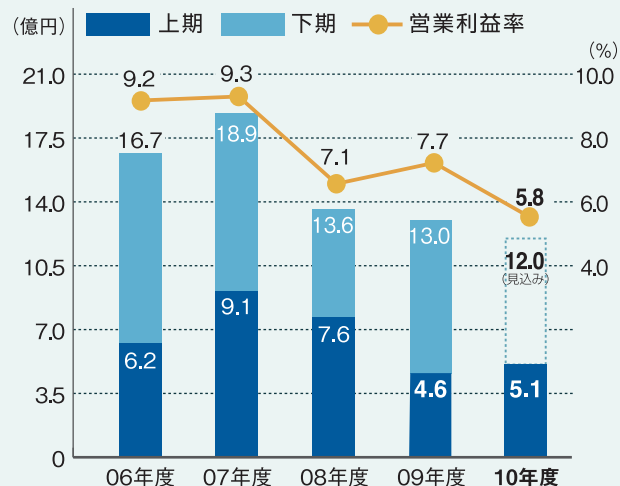
### 売上高

上期は前年同期比11%の増収、L字回復基調



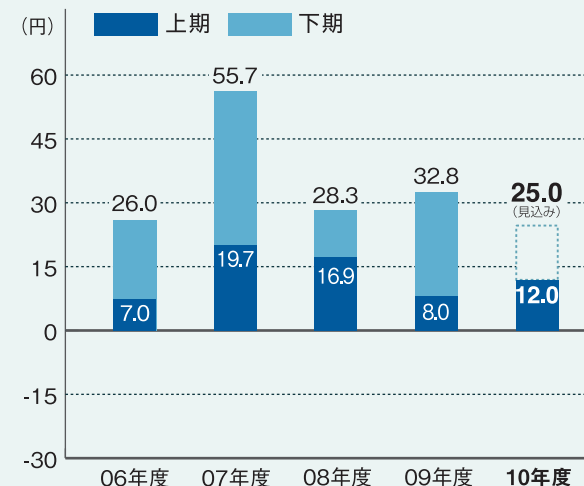
### 営業利益・営業利益率

前年同期比12%増益、堅固な営業利益水準を確保



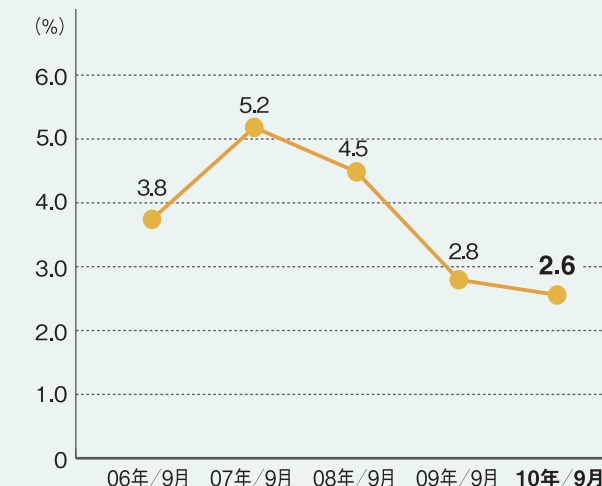
### 1株当たり利益 (EPS)

前年同期比4円の増加、通期25円を見込む



### 総資産経常利益率 (ROA)

先行投資による総資産拡大



### POINT

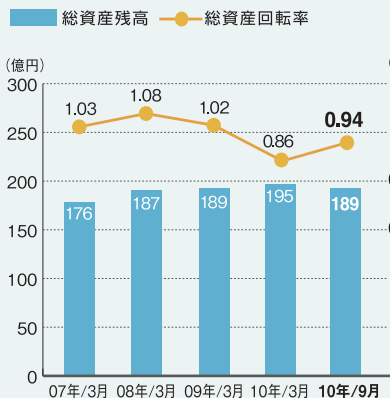
#### 売上高は回復基調

売上高は09年度を底に回復基調。原価低減活動に注力し増益確保を目指す。

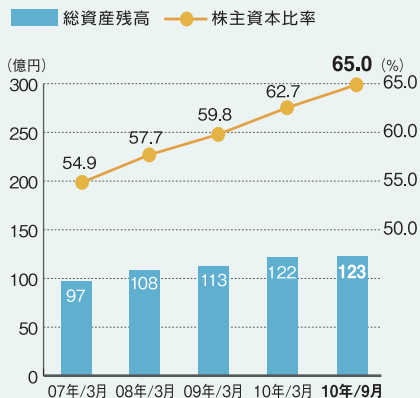
#### 強固な財務体質進展

株主資本比率、有利子負債依存度は、改善。潤沢な営業キャッシュフローを原資に重点事業への積極的な設備投資を展開。

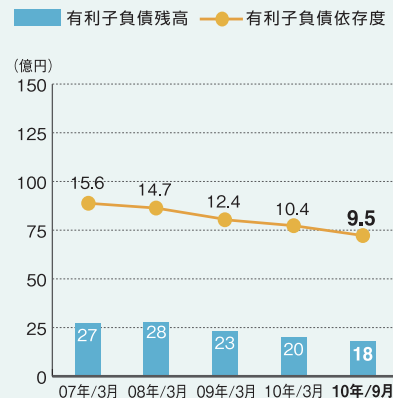
### 総資産残高・総資産回転率



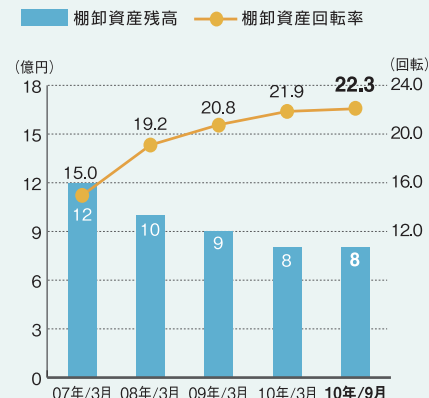
### 純資産残高・株主資本比率



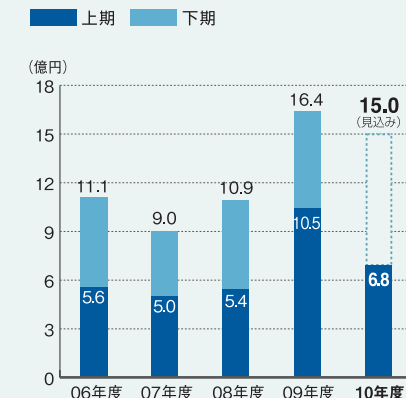
### 有利子負債残高・有利子負債依存度



### 棚卸資産残高・棚卸資産回転率



### 設備投資額



# 連結財務諸表

(注) 十万円の位を切り捨てて表示しております。

## 連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	第82期第2四半期 平成21年9月30日現在	第83期第2四半期 平成22年9月30日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	8,074	7,996
現金及び預金	3,708	3,476
受取手形・売掛金	3,146	3,356
棚卸資産	788	792
その他資産	432	372
貸倒引当金	△1	△1
固定資産	10,498	10,863
有形固定資産	9,257	9,598
建物及び構築物	2,025	2,616
機械装置及び運搬具	1,730	1,892
土地	4,404	4,404
建設仮勘定	843	413
その他	251	271
無形固定資産	47	37
投資その他の資産	1,194	1,227
投資有価証券	567	560
長期貸付金	21	11
その他	630	659
貸倒引当金	△25	△4
資産合計	18,573	18,859

(単位:百万円)

科目	第82期第2四半期 平成21年9月30日現在	第83期第2四半期 平成22年9月30日現在
<b>負債の部</b>		
流動負債	3,615	4,186
買掛金	593	733
短期借入金	1,095	1,758
未払費用	1,098	972
未払法人税等	195	133
引当金	405	393
その他	226	195
固定負債	3,389	2,383
長期借入金	1,000	—
退職給付引当金	930	934
その他	1,459	1,448
負債合計	7,004	6,569
<b>純資産の部</b>		
株主資本	11,374	12,143
資本金	5,001	5,001
資本剰余金	3,306	3,308
利益剰余金	4,017	4,911
自己株式	△952	△1,078
評価・換算差額等	167	112
その他有価証券評価差額金	60	60
土地再評価差額金	859	859
為替換算調整勘定	△753	△807
少数株主持分	27	34
純資産合計	11,569	12,290
負債純資産合計	18,573	18,859

## 連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	第82期第2四半期 平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで	第83期第2四半期 平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで
売上高	7,938	8,793
売上原価	5,570	6,245
売上総利益	2,367	2,547
販売費及び一般管理費	1,911	2,038
営業利益	455	508
営業外収益	155	92
営業外費用	83	100
経常利益	528	500
特別損失	33	7
税金等調整前四半期純利益	495	493
法人税、住民税及び事業税	170	113
法人税等調整額	83	16
少数株主損益調整前四半期純利益	—	363
少数株主利益	0	4
四半期純利益	240	358

(注) 十万円の位を切り捨てて表示しております。

## 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	第82期第2四半期 平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで	第83期第2四半期 平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	951	532
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,044	△662
財務活動によるキャッシュ・フロー	△286	△483
現金及び現金同等物に係る換算差額	7	△4
現金及び現金同等物の増減額	△371	△617
現金及び現金同等物の期首残高	3,980	4,094
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,608	3,476

## 連結株主資本等変動計算書

第2四半期連結累計期間(平成22年4月1日から平成22年9月30日まで)

(単位:百万円)

	株主資本					評価・換算 差額等	少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計			
平成22年3月31日残高	5,001	3,308	4,657	△946	12,021	164	32	12,218
第2四半期連結累計期間中の変動額								
剰余金の配当			△105		△105			△105
四半期純利益			358		358			358
自己株式の取得				△132	△132			△132
株主資本以外の項目の第2四半期 連結累計期間中の変動額(純額)						△52	2	△49
第2四半期連結累計期間中の変動額合計	—	—	253	△132	121	△52	2	71
平成22年9月30日残高	5,001	3,308	4,911	△1,078	12,143	112	34	12,290

### 当期中間配当金 1株当たり3円50銭

1. 中間配当金 1株当たり3円50銭
2. 支払対象者 平成22年9月30日最終の株主名簿に記載  
または記録された株主または登録株式質権者
3. 支払開始日 平成22年11月25日(木)

### 1株当たりの配当実績



株式の状況

会社が発行する株式の総数	128,503,000株
発行済株式の総数	33,061,003株
当中間期末株主数	4,321名

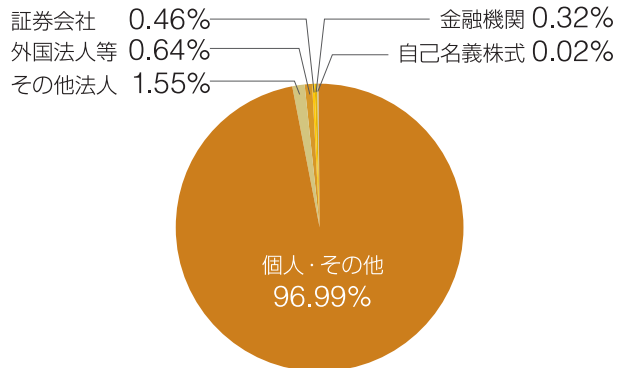
大株主（上位10名）

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
三菱電機株式会社	6,980	21.1
ゴールドマンサックス インターナショナル	2,830	8.5
株式会社りそな銀行	1,299	3.9
日本スタートラスト 信託銀行株式会社	1,016	3.0
株式会社みなと銀行	925	2.7
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社	812	2.4
指月協友持株会	704	2.1
株式会社ノーリツ	560	1.6
指月電機製作所自社株投資会	458	1.3
株式会社三菱東京UFJ銀行	431	1.3

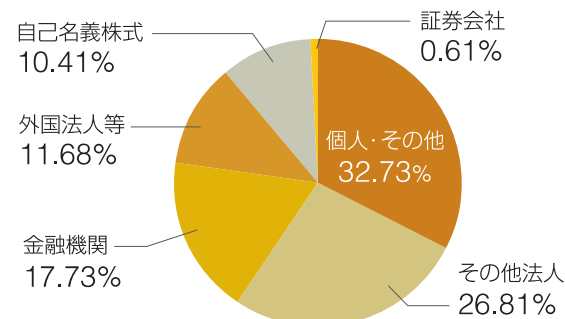
株価チャート



所有者別株主数分布状況



所有者別株式数分布状況



会社概要

商号 株式会社指月電機製作所  
 英文名称 SHIZUKI ELECTRIC COMPANY INC.  
 本店所在地 〒662-0867  
 兵庫県西宮市大社町10番45号  
 TEL:0798-74-5821  
 ホームページ <http://www.shizuki.co.jp/>  
 創業年月日 昭和14年3月10日  
 設立年月日 昭和22年9月1日  
 資本金 5,001,745,595円  
 グループ従業員数 1,322名  
 主要取扱業務 ●コンデンサ及び関連機器・装置  
 ●電力機器・装置  
 ●情報機器・装置  
 の製造販売  
 営業拠点 ●東京支店  
 ●東京支店/関西支店/中部支店  
 ●札幌営業所/仙台営業所/日立営業所  
 広島営業所/福岡営業所  
 ●マレーシア連絡事務所/韓国連絡事務所

生産子会社

社名	資本金	出資比率(%)
九州指月株式会社(福岡県)	490,000千円	100.0
秋田指月株式会社(秋田県)	300,000千円	100.0
岡山指月株式会社(岡山県)	100,000千円	100.0

販売・生産子会社

社名	資本金	出資比率(%)
アメリカンシツキ株式会社 (米国 ネブラスカ州)	17,600千米ドル	100.0
指月獅子起(上海)貿易有限公司	250千米ドル	100.0
タイ指月電機株式会社(タイ バンコク)	33,000千バーツ	70.0

役員

取締役	※社外取締役
取締役会長	梶川 泰彦
取締役	木佐木 正文
取締役	川本 十七生
取締役	池田 義範※
取締役	増田 幹登※

執行役

代表執行役社長	梶川 泰彦
専務執行役	木佐木 正文
常務執行役	志方 正一
常務執行役	足達 信章
常務執行役	浦屋 昌吾
執行役	谷口 義裕
執行役	伊藤 薫
執行役	矢部 久博
執行役	小田 敦
執行役	山本 則彦

